

## 薬物乱用防止教室

9月27日（水）に新潟薬科大学薬学部 薬品物理化学研究室 助教 城田起郎 様を講師にお迎えして、全校生徒を対象に「薬物乱用防止教室」を行いました。

「家族に出された薬を飲んで良いか」「昼食後に薬を飲み忘れた時、夕食後に昼食後の分も飲んで良いか」等のクイズや薬を飲む時に水ではなくお茶や紅茶で飲むとどうなるのかの実験、違法薬物等を勧められた時の対処法を実演など、生徒参加型の楽しくわかりやすいご講演をいただき、生徒は興味を持って参加することができました。

一般的な薬物乱用の他に、飲酒や喫煙、オーバードーズ（市販薬の過剰摂取）、カフェインの過剰摂取等もお話いただき、生徒は身近な問題として、学びを深めることができました。講演後の生徒の感想を紹介します。

- ・クイズや実演もあり、とても楽しみながら聞くことができ、とてもよい講演でした。家族と同じ症状の風邪などにかかった時でも、薬はその人専用で作られているので、他の人の薬を飲むのをやめようと思いました。お茶で飲んだり、水以外のものは効き目がなかったり、効果が増えるのは危険だと思いました。
- ・薬のことにあまり知らなかったので、知ることができて良かったなと思いました。カフェインに関して、コーヒーやエナジードリンクのみだと思っていたけれど、他にももっとたくさんあったことに驚きました。
- ・「薬ではなくても自分を変えてしまう物はすべて危険ドラッグだ」という言葉を忘れずにたいです。誘われても、はっきり断ろうと思いました。
- ・薬物の怖さや個人に出されている薬の大事さがわかりました。薬物を勧められた時に断ることの大切さも分かったし、ずいぶん言葉巧みに誘ってくるんだなと思いました。
- ・『クスリ』は『リスク』が一番印象に残りました。コーラにカフェインが入っていることなど知らないことをいろいろ知ることができました。とても面白く参考になる講演会でした。
- ・クスリを飲むときに自分はお茶で飲んでいましたが、実験で色が真っ黒になっていたの、これからは水にすることにします。
- ・薬物を誘われそうになったらキッパリ断る、話題を変えるなど様々な解決策を考えなければならぬと今日学んで、改めて思いました。

